



アドビシステムズ株式会社
141-0032 品川区大崎 1-11-2
ゲートシティ大崎イーストタワー 19F

アドビシステムズ、 Adobe Creative Suite 5.5 Production Premium を発表

生産性の大幅な強化とかつてないクリエイティブイノベーションにより、
オーディオとビデオのプロフェッショナル向けワークフロー全体を強化

【2011年4月11日】

アドビシステムズ株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：クレイグ ティーゲル、以下 アドビシステムズ）は本日、Adobe® Creative Suite® 5.5 Production Premium および各構成製品の提供が、2011年5月20日（金）からアドビストアおよび全国のアドビ製品取り扱い企業を通じて開始されると発表しました。本日からアドビストアならびに主要販売代理店各社では、同製品の予約受付けを開始いたします。また同時に、CS5.5 発売記念キャンペーンを実施いたします。詳細は <http://www.adobe.com/jp/joc/store/campaign/> をご参照ください。

Adobe Creative Suite 5.5 Production Premium はあらゆる端末の画面向けにコンテンツの提供を可能にする、映像制作とポストプロダクション向けのトータルソリューションです。Production Premium は、世界各国の放送局、映画制作会社、ビデオプロフェッショナルの顧客に次々と採用されています。本製品は、このような状況を踏まえ、画期的なパフォーマンス、ワークフローの向上、クリエイティブイノベーション、最新の強力な編集機能が強化されています。今回メジャーアップデートが行われたコンポーネントは、Adobe Premiere® Pro CS5.5、Adobe After Effects® CS5.5、Adobe Flash® Professional CS5.5、Adobe Flash Catalyst® CS5.5、Adobe Media Encoder CS5.5、Adobe Device Central CS5.5 があります。Creative Suite 5.5 に新しく加わった Adobe Audition® CS5.5 は、Mac OS と Windows® の両方に初めて対応した、映像用オーディオのマルチトラック編集環境を実現します。

アドビシステムズは、新たにサブスクリプションによるお求めやすく柔軟な価格プランの提供を開始しました。これは、最新の Creative Suite 製品を入手して活用したいと考えるユーザーや、プロジェクト単位のニーズを持つユーザー、初めて Creative Suite 製品を試用したいと考えるユーザーにとって最適なプランです。新たに導入されたサブスクリプションにより、ユーザーは全額を前払いする必要なく本ソフトウェアの最新版を常に使用することができます。サブスクリプションの価格設定により Adobe Creative Suite 5.5 Production Premium は月額 12,000 円* で使用することができます。

* 年間プランにおける月額料金となります。サブスクリプション価格の詳細は http://www.adobe.com/go/cs55subscription_jp をご覧ください。

アドビシステムズ社 プロフェッショナルビデオ部門 バイスプレジデント兼ゼネラルマネージャーのジム ジェラルド（Jim Guerard）は、「昨年一年間で私たちは、Adobe Creative Suite 5 Production Premium について、多くの反響をいただきました。それは、同製品の強化されたパフォーマンスや新機能、ハードウェアやカメラメーカーとの拡張された協業により実現したシームレスなメタデータ、コラボレーション・配信ワークフローなどについてで

す。CS5.5 は、すでに業界を席巻している CS5 の勢いをさらに加速する製品であり、映像で何かを伝えようとするビデオプロフェッショナルは、CS5.5 に加わった新たなツールや機能を活用することで世界中の視聴者に驚きを与え続けることができます」と述べています。

さらなる生産性向上

Adobe Creative Suite 5.5 Production Premium の圧倒的な生産性強化機能によって、ビデオ / オーディオプロフェッショナルはワークフローを大幅に高速化できます。Adobe Premiere Pro CS5 で導入された強力な Adobe Mercury Playback Engine は、グラフィックスプロセッシングユニット (GPU) のハードウェアサポートをさらに強化し、ラップトップへの対応や、対応するカードの拡大を実現しました。これにより、ユーザーはより迅速にプロジェクトを立ち上げ、さらに対応範囲を広げた GPU アクセラレーション機能により、リアルタイムに編集結果を見ることができ、4k 以上の解像度もよりスムーズに作業を行うことができます。

Adobe Premiere Pro CS5.5 では、精度とコントロールを向上させる新たなトリミングツールと編集ツールによりスムーズな編集ワークフローと、パフォーマンスの強化が実現しています。Adobe Premiere Pro CS5.5 では、新しい「クリップの統合 (Merge Clips)」コマンドによってデュアルシステムサウンドのサポートが実現し、ユーザーはロケーションレコーダーなどの独立したデバイスに記録された高品質オーディオとビデオを迅速に同期させることができるようになるため、DSLR や RED のワークフローに最適です。Adobe Audition との統合ワークフローを活用することで、Adobe Premiere Pro のユーザーは、参照ビデオなどの個別のクリップやシーケンスを Adobe Audition に直接送信し、オーディオの編集と修復を行えるようになり、時間を節約できます。さらに CS5.5 では、RED をはじめとするテープレスカメラのサポートが強化されています。Premiere Pro と After Effects CS5.5 で強化された「RED ソース設定」ダイアログや、Adobe Labs (アドビラボ) から提供される拡張機能を通じて RED Epic カメラからの最大 5k のメディアのネイティブサポートなどを実現しました。このような強化により、ファイルベースのワークフローを牽引してきたアドビシステムズ社のリーダーとしての地位はこれまで以上に強固なものとなります。CS5.5 により真のネイティブ編集ソリューションが実現し、ユーザーは時間を節約でき、フッターの変換やリラップも不要になります。

Creative Suite Production Premium の業界をリードするマルチスクリーン機能をベースに、新しくなった 64 ビット版 Adobe Media Encoder CS5.5 は、Adobe Premiere Pro のビデオシーケンス、Adobe After Effects のコンポジション、Adobe Encore® のプロジェクトを複数の画面フォーマットに高速に変換することができるだけでなく、バックグラウンドでエンコードができるよう、全面的に再設計されています。また Adobe Media Encoder CS5.5 では、AVC-Intra や DPX などの新たなフォーマットのサポートに加え、ウォッチフォルダの導入により、ユーザーは簡単なドラッグアンドドロップにより単一のクリップを複数のフォーマットにエンコードできます。

映画制作者として数々の受賞歴を誇り、高い評価を得た 2010 年の独立系映画「モンスターズ (Monsters)」の監督であるギャレス エドワーズ (Gareth Edwards) 氏は、「映画で、観客の心を惹きつけるのは個々のディテールではなく、さまざまな要素の組み合わせによりもたらされる大きな体験です。私が Adobe Creative Suite を愛用する理由もまさにそれです。個々のツールすべてがシームレスに連携し、プロセスの各パートの境界線が曖昧であるため、異なるピースの寄せ集めではなく、まとまりのある作品の制作に集中できます。この相互接続性と Mercury Playback Engine の驚異的なスピードは強力な組み合わせであり、

『Monsters』制作時に CS5.5 があつたら、おそらく制作時間を 2 カ月短縮できたはずですよ」と述べています。

局面を一変させるイノベーション

本 Suite がもたらす新たなイノベーションにより、オーディオ/ビデオプロフェッショナルは引き続き自らの創造性の限界に挑戦することができます。After Effects CS5.5 では、「ワープスタビライザー (Warp Stabilizer)」、「カメラレンズブラー (Camera Lens Blur)」、「ライトフォールオフ (Light Falloff)」などの新機能が採用されており、ポストプロダクションで作品の品質を上げることができます。画期的な「ワープスタビライザー」は、フッターのブレを学習することでカメラの手ぶれを排除し、メカニカルスタビライザー上にカメラを取り付けたかのようなスムーズな映像を実現します。「カメラレンズブラー」効果は、物理レンズの特性を模倣することでよりリアルな被写界深度 (ボケ) を実現します。「ライトフォールオフ」効果では、照明の自然なフォールオフのシミュレーションを行い、3D シーンでの光の挙動を模倣することができるほか、これを使用して他の光の減衰効果を作成することもできます。

CS5.5 Production Premium には、オーディオ業界ではすでに広く採用されている強力な Adobe Audition が採用され、ビデオプロフェッショナルは今後、Mac と Windows の両方のプラットフォームで同製品を活用できます。Audition では、オーディオエンジンが完全に書き直されており、オーディオの録音、編集、ミックス、マスター、調整を行うための堅牢なツールセットとなっています。Adobe Audition CS5.5 が提供するプロ仕様の編集ツールとマルチトラックミックスツール、強力なノイズリダクション、効果オプションにより、オーディオ/ビデオプロフェッショナルは今後、Mac と Windows プラットフォーム双方で、広範なタスクを素早く、効率的に処理できるようになります。

コラボレーションの向上

Adobe Creative Suite 5.5 Production Premium は、さまざまな他のツールを使用する場合でも、既存のワークフローとのコラボレーションを強化することでイノベーションを牽引し続けています。Final Cut Pro ユーザー向けのプロジェクト互換機能により、ビデオ編集者にとっては最高の柔軟性が提供されます。さらに、Adobe Premiere Pro と Adobe Audition での OMF サポートの導入、強化により、高品質のオーディオプロジェクトを Avid ProTools に書き出し、オーディオエディターとリミックス担当者、サウンドデザイナーの間でさらに効率的なコラボレーションを行うことができます。

メタデータ駆動型ワークフローに関する業界でのリーダーシップと、ニュース管理システムから再生サーバーに至るクリティカルなサードパーティソリューションとアドビアプリケーションとの簡単で柔軟な連携が契機となり、放送局をはじめとする世界中の多くの企業が Adobe Creative Suite Production Premium へと移行しています。

製品に関する詳細な情報は以下の URL をご参照ください。

<http://www.adobe.com/jp/products/creativesuite/production/>

アドビストア提供価格（税込）

- Suite 製品のアップグレード版「C」のパッケージ版はアドビストアのみでの取り扱いになります。ライセンス版については販売代理店各社からご購入いただけます。
- すべての単体製品の特別提供版は、アドビストアのみでの取り扱いになります。
- アドビストアでは、各製品のダウンロード版も提供しています。ダウンロード版は本体価格のみ（消費税抜きの価格）でご購入いただけます。
- 全ての Suite 製品には、一定期間無償でご利用いただける CS Live オンラインサービス（要登録）が含まれます。CS Live オンラインサービスには、ブラウザ互換テストのための BrowserLab、デザインワークのレビュープロセスが行える CS Review、使用デバイスやブラウザ、OS のシェアなどの最新動向を把握できる SiteCatalyst NetAverages などが含まれます。

ADOBE® CREATIVE SUITE® 5.5 PRODUCTION PREMIUM (Windows® 版 / Macintosh® 版)

- 製品版 261,450 円 (本体価格 249,000 円)
- アップグレード版「S」 58,800 円 (本体価格 56,000 円)
- ※ Adobe Creative Suite 5 からのアップグレード
- アップグレード版「A」 98,700 円 (本体価格 94,000 円)
- ※ Adobe Creative Suite 4 からのアップグレード
- アップグレード版「B」 134,400 円 (本体価格 128,000 円)
- ※ Adobe Creative Suite 2、または 3 からのアップグレード (Macromedia® Studio 8 及び Adobe Creative Suite Production Studio を含む)
- アップグレード版「C」 176,400 円 (本体価格 168,000 円)
- ※ 対象となる単体製品からのアップグレード
- 学生・教職員個人版 83,370 円 (本体価格 79,400 円)

構成製品：Adobe Photoshop CS5 Extended 日本語版、Adobe Illustrator CS5 日本語版、Adobe Flash Catalyst CS5.5 日本語版、Adobe Flash Professional CS5.5 日本語版、Adobe After Effects CS5.5 日本語版、Adobe Premiere Pro CS5.5 日本語版、Adobe Audition CS5.5 日本語版、Adobe Encore CS5 日本語版、Adobe OnLocation CS5 日本語版

Creative Suite のサブスクリプションには、年間プランと月々プランの 2 種類があります。サブスクリプションについての詳細は、http://www.adobe.com/go/cs55subscription_jp をご覧ください。

* CS Live オンラインサービスは期間限定で無償提供されます。詳細については、www.adobe.com/go/CSLive_jp をご覧ください。Adobe CS Live サービスを含む Adobe オンラインサービスは、13 歳以上のユーザーのみを対象としており、アドビシステムズ社のオンラインプライバシーポリシー (http://www.adobe.com/go/terms_jp) の追加条件に合意する必要があります。オンラインサービスは、すべての国または言語で提供されるものではなく、ユーザー登録が必要となる可能性や、予告なしに変更または中止される可能性があります。追加の手数料やサブスクリプション料金が必要となる場合もあります。

本プレスリリースは、実際の業績を大幅に異ならせる可能性のあるリスクと不確実性を内包したアドビシステムズ社の将来の製品計画に関連した将来的観測を含みます。これらおよびその他のリスクと不確実性についての解説に関しては、アドビシステムズ社が証券取

引委員会（SEC）に提出した書類をご参照ください。アドビ システムズ社はこれら将来的観測を更新する義務を負うものではありません。

アドビ システムズ社について

アドビ システムズ社は、世界を動かすデジタル体験を提供します。アドビ システムズ 株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、Web サイトに掲載されています。

Adobe, the Adobe logo, Creative Suite, Premiere, After Effects, Flash, Audition, Encore, and Flash Catalyst are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated, in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of thier respective owners.

© 2011 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.